

H25.6.19

平成25年度の協働パイロット事業は、前年に引き続き、1事業当たりの事業額25万円以内で4事業を募集したところ、11団体から11事業の提案を受け付けました。

また、今回は大学生や若い世代で構成された応募団体が含まれており、本市の市民活動の広がりを実感することができました。

審査では、「市民ニーズや社会的課題を適切に認識しているか」と「協働にふさわしい事業か」の2点について、特に重点を置き審査を行いました。

提案の11事業を審査した結果、「市民ニーズや社会的課題を適切に認識している事業」、「協働にふさわしい事業」であると判断した提案は、

- ・いきもの企画 『動物園メモでもっと動物観察「もっとメモ」作成事業』
- ・市民エコワーク 『古本リサイクル市』
- ・しそ〜か防災かるた委員会 『「いざに備えて、楽しく学ぶ『しそ〜か防災かるた』で防災学習出前授業』と「しそ〜か防災かるた競技会 in 静岡市」の開催』

の3事業であり、その3事業を平成25年度協働パイロット事業として採用するよう市に提案しました。

《採用手続きについて》

審査委員会の提案を受けて検討した結果、提案のあった3事業を採用することに決定しました。今後、採用団体及び協働の相手方となる関係課と実際に実施する事業内容について協議し、合意した内容で契約を結ぶことにより、正式に事業を開始することとします。

採用＝◎ 不採用＝●

◎いきもの企画

『動物園メモでもっと動物観察「もっとメモ」作成事業』

協働にふさわしく、事業の先駆性、創造性に加え、実行性が高く認められました。「すべてのいきものを主役に」といったテーマで、動物園の中では主役になりづらい小さな動物達にも焦点を当て、色彩豊かで、子供からお年寄りまで親しみやすいパンフレットを活用し、新しい視点で動物達を紹介する手法には先駆性を感じました。

協働先の日本平動物園と事業実施のための協議を重ねる中で、飼育員や動物園ボランティアの方々とも意見交換を深めていただき、「もっとメモ」が、子供から大人まで全ての来園者の新たな発見や、小さな動物達への理解を深めていただくきっかけとなることを期待しています。

◎市民エコワーク

『古本リサイクル市』

リサイクルに対する市民の関心度は高く、「本の物々交換」といった事業手法の実行性を高く評価しました。協働先の中央図書館と事業内容や協働の役割分担などを明確にし、中央図書館のイベントと連携を図ることで、中央図書館の利用率の向上にもつながる取り組みとなることを期待しています。

また、団体の活動拠点として、本市市民活動センターの利用検討を行い、イベント開催にかかる費用の徴収等を検討するなど、運営を安定させるため団体のマネジメントにも力点を置き、事業の継続に努めてください。

◎しぞ〜か防災かるた委員会

『いざに備えて、楽しく学ぶ『しぞ〜か防災かるた』で防災学習出前授業』と「しぞ〜か防災かるた競技会 in 静岡市」の開催』

南海トラフ巨大地震の発生が懸念される中、防災教育に「かるた」を用いるといった気づきに対し、高い創造性を感じました。

特に上の句に「地域の情報」、下の句に「防災の情報」を盛り込んだ句を広く市民の皆さんから募集し、かるた札を作成したことは、防災の教訓を気軽に、より身近に習得したいといった市民ニーズを的確に捉えていると言えます。

今後は、学校や自治会をはじめとした様々な機関・団体の方々とのつながりをさらに深め、いざというときの備えを伝え広めてください。

審査委員会では、以下の事業については、残念ながら選外とさせていただきます。

しかし、「協働事業であることの必要性」といった視点で提案内容を見直せば、採用に達する提案もあると感じました。

先ずは、ご提案いただいた事業が、市と協働すべき事業なのか、むしろ他の団体と連携すべき事業なのか、それとも自主的に活動を実施した方が、より高い効果が得られる事業なのかを再検討していただき、事業の有効性を高めてください。

また今後は、市民活動団体としての特性をいかし、本市における社会的課題の解決のための一翼を担っていただけることを期待しております。

●特定非営利活動法人だっことおんぶの研究所

『我が子は自分で守る！ 地震防災セミナー』

乳幼児のいる災害時要援護者に着目した点は、市民ニーズを適切に把握しているものとして高く評価しました。

一方、乳幼児のいる世帯に関する支援に的を絞った提案であったため、広く子育て世帯にも言及した支援内容であれば、その効果のすそ野は広がり、より良い提案になったと感じています。

ただ、活動自体の有効性については、全委員が認めるところであり、今後の活躍を期待しています。

●バディプロジェクト

『経産婦向け一時保育付きマタニティ講座 「ウチに赤ちゃんがやってくる」』

経産婦への支援に焦点を当てたことに対する先駆性と創造性を高く評価しました。

一方、一般的に妊娠出産への不安や情報提供への市民ニーズは、経産婦よりも初産婦の方が高いのではないかという見方もあり、経産婦の支援の重要性が明確になるデータを示し、ご説明いただければ、より説得力のある提案となったと感じています。

今後も活動の輪を広げていただけることを期待しています。

●日本防災士会静岡県支部

『防災対策の中心はジュニアにまかせろ！』

中学生を対象とした「ジュニア防災士」の養成は、南海トラフ巨大地震発生時の社会的課題やニーズへの対応のためには有効な事業であると評価をしました。

しかしながら、ジュニア防災士講習が、普通救命講習等の他の類似する講習との目的や内容との違いが不明確であること、市に求めることが資材の購入資金提供が主であることから、協働にふさわしい事業であることに對し、疑問を持ちました。

今後も防災意識の向上のため、効果的な活動を続けられることを期待します。

●特定非営利活動法人 place of peace

『パパもママも子どももみ～んなまるごと応援プログラム』

母親を対象とした子育て支援講座の開催と同時に別会場で、父親と子供を対象に親子遊びを教えるといった提案に先駆性を認め、高く評価しました。

しかしながら、市に求めることが主として会場（生涯学習交流施設）の提供であること、また、すでに事業は軌道に乗っているとの意見もあり、協働といった手法を選択するよりも単独で事業実施される方が、効果的であると判断しました。

今後は財務強化にも力点を置かれ、活動を進めていくことを期待しています。

●静岡学習支援ネットワーク

『無償学習支援教室事業』

大学生の社会貢献活動に着目し、その特性をいかし、学習機会を望む中学生に対し支援を行っている点について、市民のニーズを捉えており、市民活動団体としての特性を十分に発揮している事業であると評価しました。

一方、活動の目的が、学習支援に有るのか、生活指導に有るのかといったことや、市へ求めることが主として資金提供であり、協働の必要性が不明確であるとの指摘もありました。

今後は財務強化にも力点を置かれ、教育委員会の実施している既存の事業とも連携され、活動を進めていくことを期待しています。

●特定非営利活動法人スリーピース

『困った時には、声をかけてね。静岡市子育て支援団体紹介カタログの制作』

市民や市民活動団体と行政機関との橋渡しとしてのサービスの実施は、市民活動団体の特性がいかせる分野であると高く評価をしました。

一方、カタログの制作といった事業は、協働パイロット事業という形態を取らなくても、民間企業との連携や支援、会員同士の会費収入等により、実施は可能であると考えられます。

今後は連携手法を検討し、活動を進めていくことを期待しています。

●ファシリテーターズ静岡

『10年後のわたしは何をしている？ ～中学生向け男女共同参画をベースにしたキャリア教育学習の提案～』

ジェンダーがキャリア形成に影響を与えていることに着目し、そこに起こりうる諸問題の解決のための取り組みは、先駆的であり高く評価しました。

反面、それらが明確になる客観的なデータを示し、ご説明いただければ、より説得力のある提案となったと感じています。

今後も大学のゼミやカウンセラーの方々との連携を深め、事業を継続していただけることを期待しています。

●特定非営利活動法人 ふじのくにハーモニー

『うたおうよ、子守唄！！ たのしもうよ、ふれあい歌遊び！！』

子守唄に着目して、子育てを支援しようといった取り組みについては、創造性があり高く評価しました。

一方、事業の中で予定されているCDの制作について、一般的に販売されている子守唄のCDとの違いが不明瞭であるとの指摘もありました。また、子守唄という媒体に対する市民ニーズの高さが明確になる客観的なデータを示しご説明いただければ、より説得力のある提案となったと感じています。

今後も活動の輪を広げていただけることを期待しています。